

# 流山カントリーウォーク

(新川耕地のCO<sub>2</sub>濃度測定データを含む)

2014-8-17

定例会説明資料

# 流山

## Nagareyama Country Walk



MINAMI  
MUCHI

TOMUNGA



# カントリーウォーク

エリア1  
新川耕地

2014年  
10月18日(土)  
9:00-12:30



エリア2  
利根運河

2014年  
11月22日(土)  
9:00-12:30



事前申込制

- ◎コース：新川耕地1コース  
利根運河一環コース25.5km、新川耕地コース22.9km
- ◎持ち物：帽子、水筒、歩きやすい服装・靴
- ◎定 員：それぞれ100名
- ◎参加費：500円（お昼は無料）
- ◎雨天の場合：雨天中止・お断り
- ◎事前申し込み：流山市 環境政策・市民交流課  
TEL.04-7150-0000
- ◎申込締切：新川耕地/10月18日、利根運河/11月14日  
ただし、定員に達しない場合は要相談

●主催：流山カントリーウォーク実行委員会、流山市、公益財団法人日本田舎楽協会  
 ●後援：流山商工会議所、流山市、流山市民会館、千葉県 - 国土交通省国土利用政策課、立川大学

〒270-0292 流山市 環境政策・市民交流課 TEL.04-7150-0283 FAX.04-7150-0521



流山市



## 目的:

流山市の生物多様性地域戦略を推し進めるため、「流山カントリーウォーク」実行を通して、流山市の生物多様性重要拠点を流山市民に紹介し、生物多様性を維持することの重要性を認識してもらおう。

## 内容:

### ①新川耕地:

農業生産地としての新川耕地を歩くことによって、豊かな自然がもたらす食の恵を実感してもらう。

### ②利根運河:

利根運河とその周辺の自然と歴史にふれてもらい、自然と暮らしの結びつきを実感してもらう。

### ③共通 : 暮らしと自然のふれあいマップ配布

パネルによる解説

暮らしと自然のふれあいクイズ

思い出マップ作り

豚汁とおにぎりの昼食付

## 9:05-9:20 ①クリーンセンター

- パネル1：生態系サービス（日本自然保護協会）  
生態系サービス全般について簡単に解説。  
実は私たちの現代の社会活動を支える重要な要素。
- パネル2：まちなか森づくりプロジェクト紹介  
（環境政策・放射能対策課）  
まちなか森づくりプロジェクトの全容紹介。  
下花輪福祉社会館での植樹事業紹介。

383ppm





382ppm





389ppm

## 9:30-9:40 ②今上落としの土手に上がったところ

- パネル 3 : 新川耕地の農業 (農業政策課)  
新川耕地の農業の現状説明。  
農家数、休耕田、農地整理事業など。
- パネル 4 : 流山の水 (NPOせっけんの街流山)  
流山の水についての話



385ppm

## 10:00-10:10 ③常磐道高架下

- パネル5：新川耕地の野鳥（NPOさとやま）  
ダイサギ、コサギ、タシギ、タゲリなど  
新川耕地の野鳥の紹介。  
生息条件と現在の環境。
- パネル6：災害時の命を支える自然の恵み  
（日本自然保護協会）  
防風林・森林・自然堤防・湿地（水田）がある  
ことで、暴風や火事・洪水の被害を弱める。



380ppm



419ppm



402ppm



403ppm



396ppm

## 10:30-11:55 ④もったいないファーム

パネル7：実りをもたらす昆虫たち（日本自然保護協会）  
トマトやカボチャの受粉に昆虫の手助けが必要。  
世界の4-8割の農作物が、虫の送粉に依存。  
畑の周りの森がないと収穫量が減少。

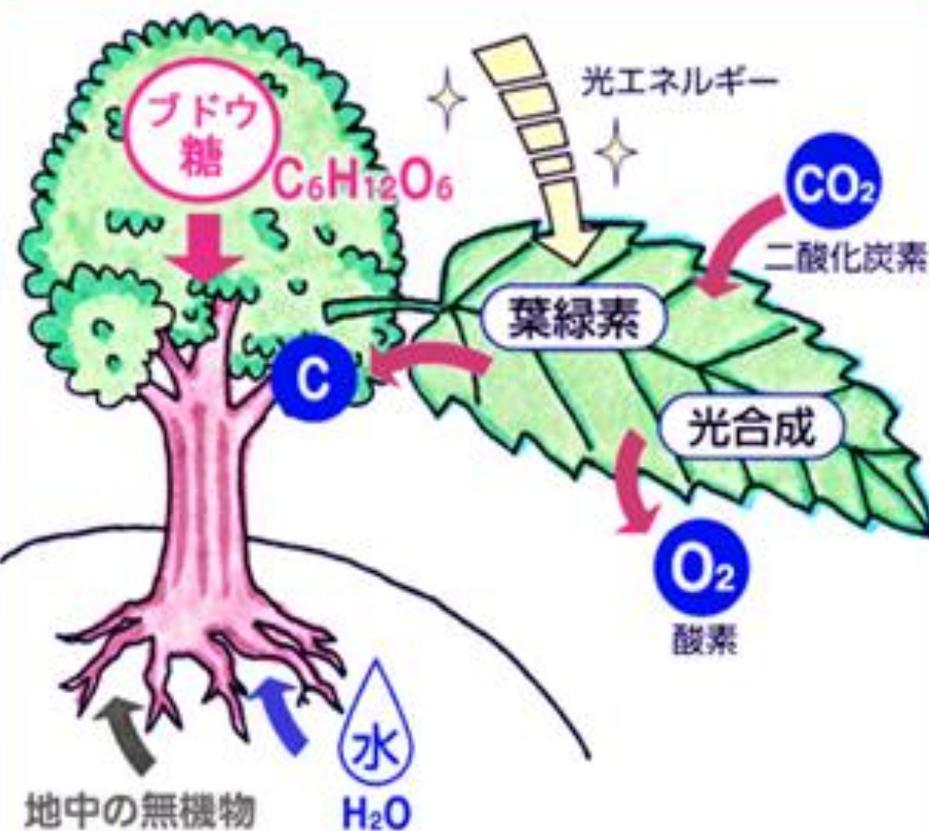
パネル8：新川耕地のホタル（流山ホタル野）  
新川耕地のホタルの紹介。

パネル9：新川耕地の綿栽培  
（オーガニックなくらしをめざすネットワーク）  
新川耕地での綿栽培を紹介

パネル10：新川耕地のCO<sub>2</sub>濃度（温暖化防止ながれやま）  
植物の光合成が地球温暖化防止に役だっている  
ことを説明。  
周辺のCO<sub>2</sub>濃度を測定してみる。

## 植物の光合成(こうごうせい)

「光合成」とは、二酸化炭素と、水、太陽の光を使って、栄養分と酸素を作り出すことです。二酸化炭素は、葉っぱの裏側に多くある、気孔(きこう)といふところから吸収します。水は、根が地中の水を引き上げ、くさき根で葉っぱまで運びます。太陽の光は、葉っぱの中にある「葉緑素(ようりょくそ)」という緑色の色素(しきそ)が、光を吸収します。これらがそろると植物は「光合成」を行い、糖(とう)やデンプンなどの「炭水化物(たんすいぶつ)」が栄養分としてたくわえられ、植物のエネルギーの源に使われます。そして、このときに酸素を作り、葉っぱの裏側にある気孔から空気に放出されます。植物は、地球温暖化の原因である二酸化炭素を吸収して、酸素に変えて、はき出しているのです。

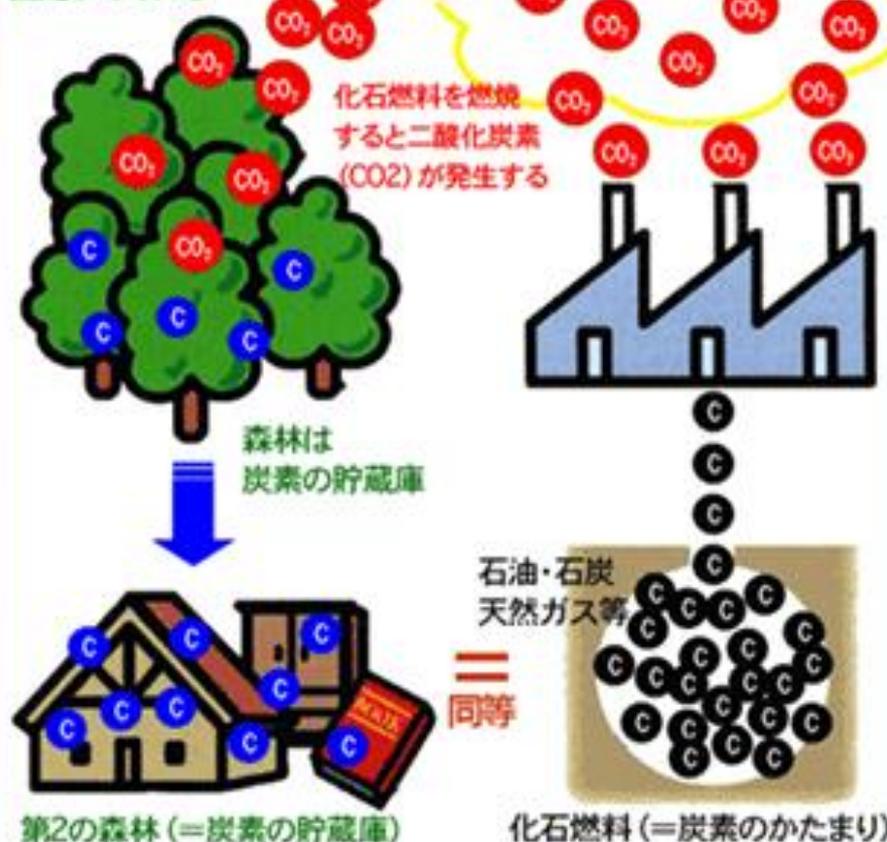


本日(18日)13:30より、須山市のリーフレットセンターで「第3回市民環境講座」(先着100名様に野菜プレゼント)が開催されます。地球温暖化について詳しく解説しますので是非ご参加ください。

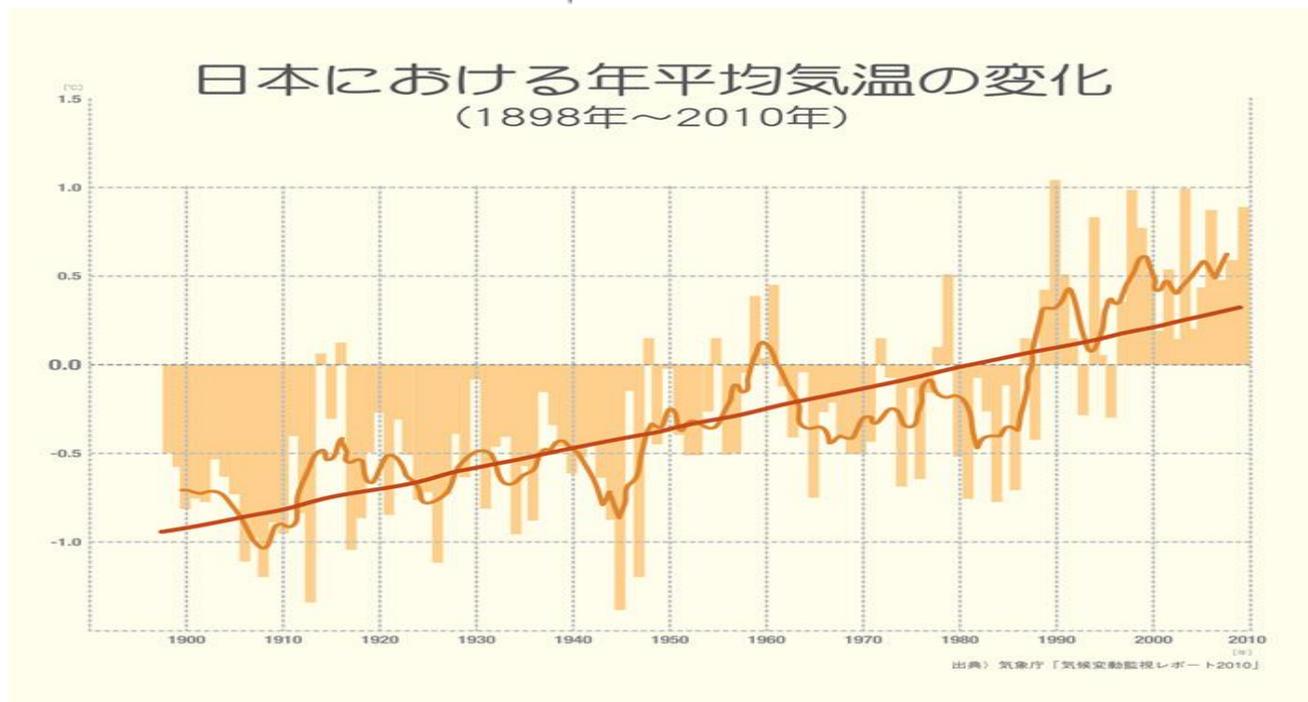
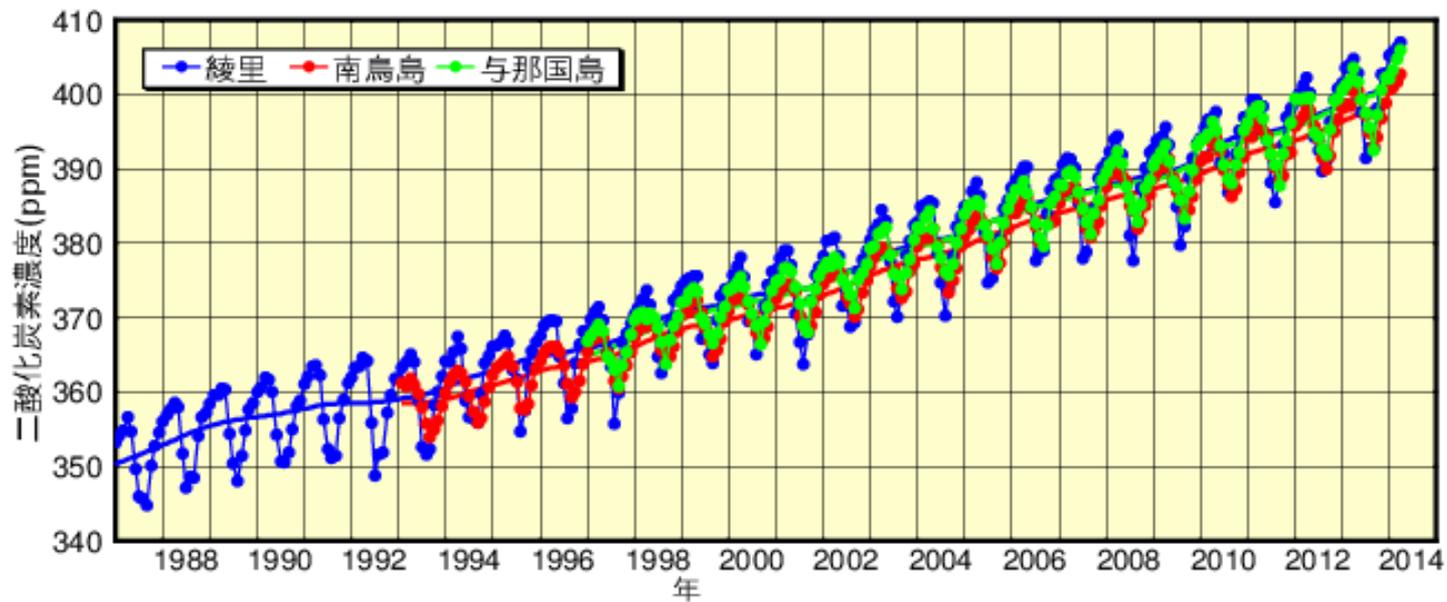
(温暖化防止なごれやま)

## 植物の光合成は地球温暖化防止に役だっています。

森林はCO2を吸収し、固定してくれる



「温暖化防止なごれやま」は、温室効果ガス(CO2)削減の為に、「まちなか森づくりプロジェクト」に参加しました。





403ppm

349 ~ 399ppm



444ppm



414ppm



433ppm



423ppm

# スタッフの方は

10月18日(土)

8:00 = クリーンセンター集合

12:00 = もったいなファーム解散

12:30頃 = クリーンセンター着

\* 13:30 ~ 第3回環境講座

スタッフ予定者;

新田さん、高橋さん、古井さん、

難波さん(am)、春田